

http://www.minamih.net/



12・1・28(土)  
南NEWS NO62

お家の人へ  
矢上は今3年生の算数を教えていますが心配なことがあります。たくさんはいないのですが、3年生で“かけ算九九”を憶えていない子がいるのです。6の段から上がよく憶えていない、 $4 \times 7 = 21$ と憶えてしまっていて、 $4 \times 7$ の計算が出てくる問題は全部間違えてしまうということもあります。また3年生になっても指を使って足し算・引き算の計算をする子もいるのです。

お家で確かめてみてください。もし、心配なことがあるならば、繰り上がり・繰り下がりのある足し算・引き算、かけ算九九の100マス計算のプリントを毎日やらせてください。最初は時間がかかりますが、どんどん時間は短縮され、間違えることもなくなります。

自信も付いてきます。基礎的な計算はサッカーでいうインサイドキックと同じで、できないと次のステップに進めないのです。

矢上もお手伝いします。プリントも用意します。

by 南のアンパンマン



### 3年生 白百合招待 1・15

■順位戦(2位パート)

<南八王子0-2ハリマオ> (前半:0-2、後半0-0)、得点者:なし

3試合目もやはり立ち上がりは南の動きが硬く、アプローチが遅れてしまい、相手にボールを蹴らせてしまいます。それでも相手攻撃を防ぎ何度もドリブル突破を試みますが、なかなか突破することができません。

珍部君が積極的にワンツーを使い何とか相手エリアにボールを運びドリブルで仕掛けますが、それも相手ディフェンスに止められてしまいます。すると前半11分にキーパーが前に出たところを狙われ失点。続いて12分にはクリアミスでフリーの選手につながれ失点。前半を0-2で折り返します。

後半になってもなかなかリズムに乗れず、結局0-2のまま試合終了。

2試合目がすばらしかっただけに、残念な結果ではありましたが、それでも最後まであきらめずにがんばっていました。

今回の試合で特に素晴らしかったのは、ベンチからも大きな声が出ていたことです。チーム一丸となって全員で戦うことができていました。また、めあてにしているアプローチやドリブルについても積極的にチャレンジできていたと思います。

これからも一生懸命練習をガンバって、更に自分の技を磨きましょう!

by 能登コーチ

### 新春フットサル6年生 2012.1.15

○南レッズ 4-6 松が谷 (前半1-3) 負け

開始早々から工藤君、林君、工藤君と立て続けにシュートを撃ち、2分に工藤君がフリーキックを決めて先制します。その後、相手の強い当たりで戸惑いますが、そこは八木下君のガッツある当たりで対抗し、中野君の堅い守りと強いシュート、林君のヘディング、工藤君のドリブルシュート、と、12分間休むことなく動き回りますが、シュートが決まらず、しかし、相手の強い当たりと技、強いシュートで前半を1-3で折り返します。

後半3分に1点追加され、3点差とされますが、それでも精一杯のプレーを続け、臼井君からのパスを受けた細川君がいい形でシュートを打つと、そこから、5分に細川君のヘディングで2点差に、6分には荻沢君得意の、左から鋭角に折り返すクロスを決めて1点差、11分にはまた細川君が決めてついに追いつきます。その数秒後に相手キックインからゴール前のボールを押しこまれ、最後はキーパーの工藤君も攻撃に参加しますが、無人のゴールに入れられてしまいました。

2012.1.22

○南バームクーヘン 2-4 南陽台 (前半1-2) 負け

キックオフから撃ってきた強いシュートを井上君がナイスセーブします。2分にはキックインのからシュートを決められてしまいます。

フットサルを良く知っているチームです。加藤君が自在なドリブルでかわして牛窪君が撃ったシュートは惜しくもファーのポスト脇を抜け、小沢君の強烈なシュートもゴールをはずれ、牛窪君のカウンター1:1も外れてしまいます。

追加点をキックインから入れられますが、流れを変えるべく交代した矢久保君がその動きの量と速さをみせつけ、前半終了間際には、吉田君からのボールを矢久保君が決めて、1点差で折り返します。後半、キックオフからプレッシャーをかけますが、少し集中が切れたところでボールを奪われ、たて続けに2点取られてしまいました。しかし、いつも豊富な運動量でチームを引っ張る吉田君がドリブルをどんどん仕掛け、フリーキックを決めて2点差とします。そして、取られたボールを強く取り返しに行くガッツを出した加藤君のドリブルは切れを増し、ゴール前でキーパーさえ翻弄します。

後半に出場した能登君は、休むことなく走り回り、そんな中から、井上君の強烈なシュート、それをキーパーがはじき、ボールは加藤君の前に、ゴールは無人、というビッグチャンスが生まれました。これを外してしまうのも試合の妙でしょうか。惜しくも負けてしまいましたが、特に吉田君が負傷退場した最後の

2分間は、全員が今までより以上に最大集中し戦った印象に残る試合でした。



6年生のフットサルの大会は終わりましたが、まだまだいろいろな大会があります。自分達のめざすサッカーを少しでも創り上げて卒業の日を迎えてほしいと思います。自分のめあて・チームのめあての達成を最後までめざしてください。それが4月からの中学校生活の基礎創りにもつながるからです。

by 伊藤コーチ